

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	小丸川・宮田川の水門管理事業				開始年度	
基本目標	治水対策の推進				終了年度	
担当課(局)	建設管理課	担当係	管理係	記入者	金丸 寿生	評価者 芥田 秀則
21年度決算	2,957	千円	22年度予算	2,927	千円	事業の実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	801	千円	22年度人件費	795	千円	事業従事者数 0.11 人 0.11 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	水閘門等の操作を円滑に行い、災害発生を防止する。
事業の内容	町の活水災害の発生防止

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 浸水被害件数	浸水被害件数0件
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 水門管理箇所	国管理12箇所年18回の定期点検 県管理9箇所年3回の定期点検
	2 水門操作回数	実績0回 出水時に水位を見て操作
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	浸水被害件数	目標値	0	0	0	
		実績値	0	0		
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	水門管理箇所	目標値	21	21	21	
		実績値	回	21	21	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	水門操作回数	目標値		0	0	0
		実績値		0	0	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	町民の安全を守るために町が行うべき事業である。高鍋町においては他課、他団体では行われていない。事業を廃止すると出水時の水門等の円滑な操作が行えない。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	町が管理することによって、出水時に水門等の円滑な操作が行える。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	国・県からの管理委託事業なので、削減の余地はない。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	国の水閘門等については、建設業協会、消防団OBなどの町民に再委託ができる可能性はある。

事務事業名	小丸川・宮田川の水門管理事業	担当課(局)	建設管理課
-------	----------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	住民の安全安心の水害対策上事業の廃止はできないが、2次委託を含めて今後の管理を検討する必要がある。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎国・県から委託費を受け災害時の水門を管理するものであるが、水門の数が職員の数より多いため、早急な対応に苦慮しているため、民間に委託できるものは委託するように検討すべきである。 ◎建設業組合に委託するのではないのか。 ◎消防団などへの委託など検討すべきである。
	コスト	現状維持	